

各位

東京都千代田区麹町三丁目2番4号  
 会社名 株式会社スリー・ディー・マトリックス  
 代表者名 代表取締役社長 岡田 淳  
 (コード番号: 7777)  
 問合せ先 取締役 新井 友行  
 電話番号 03 (3511)3440

## 2022年4月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年6月14日付で公表いたしました2022年4月期(2021年5月1日~2022年4月30日)の業績予想を下記のとおり修正しますので、お知らせいたします。

### 1. 2022年4月期通期の業績予想数値の修正(2021年5月1日~2022年4月30日)

【連結】

(単位:百万円、%)

	事業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	2,379	△1,746	△1,751	△1.871	円 銭 △42.13
今回修正予想(B)	1,509	△2,398	△2,546	△2,621	△47.87
増減額(B-A)	△870	△652	△795	△750	—
増減率(%)	△36.6%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2021年4月期)	1,024	△2,648	△1,900	△2,012	△49.65

### 2. 業績予想修正の理由

当社グループの2022年4月期の業績予想について、下記を主要因として業績予想を修正することといたしました。

製品販売2,379百万円(欧州:1,099百万円、オーストラリア:650百万円、米国:318百万円、その他:310百万円)の事業収益を予想しておりましたが、製品販売は1,509百万円(欧州:843百万円、オーストラリア:497百万円、米国:53百万円、その他:116百万円)となる見込みとなりました。前期比では47.4%増と成長は維持しているものの、計画比では36.6%の減少となります。加えまして、原価及び費用の修正も見込んでおり、売上減の影響と合わせまして営業利益も652百万円の減少を見込んでおります。主な修正理由は下記①~③の項目に記載しております。

ご注意: この文書に記載した当社の業績予想に関しては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

### ① 事業収益の減少

製品販売に関して、計画ではある程度COVID-19の影響を見込みつつ、下期には回復に向かうと想定しておりました。実際当第2四半期終了時点において需要の回復の兆しが見えておりました。しかしながら昨年12月以降のオミクロン株の急速な蔓延により、特に欧米において当社がターゲットとする不要不急の手術が大規模に延期され、当第3四半期の販売実績は逆に悪化致しました。手術の延期は一時的なものであると認識しておりますが、回復が今期中に見られるかどうかは不確実であることから、業績予想を修正することと致しました。なお、回復した需要を確実にとらえるため、営業力は引き続き維持する予定であり、来期も引き続き積極的な営業施策を実施し、高成長を目指してまいります。

### ② 会計上原価の低減の遅れ

製造原価につきまして、滅菌方法の変更及び製造スケールアップによる製造原価低減を進めており、前期の製造原価率70%に対し、今期の四半期毎の原価率は着実に低減効果が見られております。しかしながら、売上減に伴い在庫の回転に遅れが生じ、移動平均法で計算されるみかけ上の原価が当初計画どおりの速度で下がりきらない見込みとなりました。期初の計画では約50%の製造原価率を予定しておりましたが、現時点では約60%の製造原価を見込んでおります。今期の想定原価と1回の製造にかかる実コストにまだ開きがあることから、来期にも引き続き原価の低減が見込まれます。

### ③ コスト削減の遅れ

販売費及び一般管理費については、日本および米国での販売開始に伴い、営業体制確立などのために約4億円の先行費用を上積みする計画であり、計画額は予定通り消化する見込みであります。その増分を吸収するため、約4億円のコスト削減を計画し、3,013百万円と計画しておりました。しかしながら、主に欧米においてCOVID-19の影響により、通常業務ができない状況が長く続いており、主に支払報酬においてコスト削減プログラムの進捗に遅れをきたしました。現時点で削減効果は約1.5億円にとどまっており、約2.5億円が計画より超過し、販売費及び一般管理費全体で約3,269百万円を見込んでおります。

上記①～③の結果として、営業利益は△2,398百万円と当初予想を下回る見込みとなります。また、約△129百万円の為替差損を見込んでおり、連動して経常利益は△2,546百万円、純利益は△2,621百万円となる見込みで予想の修正を行っております。

なお、現段階におきましては、「中期経営計画」への影響について精査中であり、来期以降に本件内容を踏まえた段階で公表させていただきます。

以上

ご注意： この文書に記載した当社の業績予想に関しては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。